

岡山県スマート農業技術開発プラットフォームに関するQA(未定稿)
(コンソーシアムへの支援について)

R6 (2024)年2月
産学連携推進課

① どのような内容ですか？

プラットフォーム活動に基づくコンソーシアム(共同研究体)における開発や改良を支援するものです。

実施後、製品化の制約はありませんが、実施の場合は、会員名やコンソーシアムの名称、実施概要などを公表するとともに、成果発表に協力していただきます。

なお、この事業は、本格的な共同研究や事業化に先立ち、事前に行う予備的な試験(調査)を行う、フィジビリティ・スタディ(「FS」という)です。

※フィジビリティ・スタディ(FS)：製品化の可能性や実現可能性を調査すること

② 主な要件は、何ですか？

次の要件を満たす必要があります。

- (1) 農業に関連する機械や器具、システムなどの開発や改良に関するもの
- (2) 県内の生産現場や地域の課題に適応したもの
- (3) 令和6年度に対応が可能なもの

③ どのような支援を受けることができますか？

支援の対象は申請者ではなく、共同研究に係る契約を締結したコンソーシアムへの支援となります。

具体的には、県(農林水産総合センター)による、コンソーシアム活動で必要となる調査機械などの借上げ、研究に必要な材料の購入、専門家の派遣などを想定しています(いずれも議会により議決された予算の範囲内)。

④ 支援を受けるにはどうすればよいですか？

コンソーシアム支援を円滑に行うため、事務局では、会員と県内の生産現場の課題とのマッチング調査を行います。

次に、実施希望者は、事務局と内容について、打合せ会議(ヒアリング)を行います。さらに、実施の必要性や実現性、普及性などについて総合的に検討・評価します。

このため、マッチング調査票を提出しても、コンソーシアムへの支援ができるとは限りません。

その上で、実施計画書を作成・提出するとともに、岡山県農林水産総合センターにおける計画内容の審査と承認が必要となります。

⑤ コンソーシアムへの支援額はいくらですか？

議会により議決された予算の範囲内で支援を行います。また、年間2つのコンソーシアムを予定しています。

⑥ なぜ、マッチング調査の申請はプラットフォーム会員としているのですか？

プラットフォーム活動の目的に賛同する会員における開発や改良を支援するためです。なお、コンソーシアムには、会員以外の企業や生産者団体（JA）などが参加することは可能です。

支援を希望する場合は、あらかじめプラットフォームへのご加入をお願いします

⑦ 過去に申請したことがある会員が再度申請することはできますか？

過去に申請した生産現場の課題と異なる内容であれば、申請は可能です。また、過去に申請した課題と同様である場合は、新たな取組を含む必要があります。

いずれにしても、新規の課題と同様に、実施の必要性や実現性、普及性などについて総合的に検討・評価します。

⑧ 1つの会員から、複数のマッチング調査票を提出しても良いですか？

コンソーシアム支援に係る予算やコンソーシアムの予定数から、1会員は、原則として1課題についてマッチング調査票を提出してください。